



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

2022年10月5日

報道関係各位

欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）

欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）新副会長に堀井貴史を任命

一般社団法人欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）（会長：岩屋孝彦）は、9月30日付けで新副会長に堀井貴史（アストラゼネカ株式会社 代表取締役社長）が任命されたことをお知らせいたします。任期は2023年3月までとなります。新副会長の任命は、青野吉晃の退任に伴うものです。

また、9月15日の臨時総会を経て、シャシャンク・デシュパンデ（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 代表取締役会長兼社長）、キャスパー・ブッカ・マイルヴァン（ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 代表取締役社長）、堀井貴史が新理事に任命されました。

レオ・リー副会長（ノバルティス ファーマ株式会社 代表取締役社長）は留任し、堀井新副会長とともに岩屋会長（サノフィ株式会社 代表取締役社長）を引き続きサポートします。

堀井新副会長は、就任にあたり次のように抱負を述べています。「未だ収束しない不安定な世界情勢において、変化の激しい不確かな将来とイノベーションのスピードに対応し得る、より効率的で柔軟かつ持続可能な医療システムを構築することが求められています。EFPIA Japan はその専門性と知見を通じて、ステークホルダーの皆様とともに、解決策を見出すための議論に引き続き貢献してまいります。」

EFPIA Japan 理事会メンバー（2022年9月30日現在）

会長	岩屋 孝彦	（サノフィ株式会社）	
副会長	レオ・リー	（ノバルティス ファーマ株式会社）	
	堀井 貴史	（アストラゼネカ株式会社）	新任
理事	ポール・リレット	（グラクソ・スミスクライン株式会社）	
	フリオ・トリアナ	（バイエル薬品株式会社）	
	關口 修平	（ヤンセンファーマ株式会社）	
	菊池 加奈子	（ユーシービー・ジャパン株式会社）	
	シャシャンク・デシュパンデ	（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社）	新任
	キャスパー・ブッカ・マイルヴァン	（ノボ ノルディスク ファーマ株式会社）	新任
	アレキサンダー・デ・モラルト	（メルクバイオファーマ株式会社）	
理事長	諸岡 健雄		

EFPIA Japan

Tokyo Opera City Tower, 3-20-2, Nishi Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan

欧州製薬団体連合会（EFPIA） Japan について (<http://efpia.jp/>)

2002年4月に設立されたEFPIA Japanには、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業23社が加盟しています。2021年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約26%を占めています。EFPIA Japanの使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する”ことです。EFPIA Japanは日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

欧州製薬団体連合会 EFPIA（European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations）について (<https://www.efpia.eu/>)

EFPIAは、欧州で事業を展開するバイオ医薬品産業を代表する団体で、欧州各国の37の業界団体、欧州で活動する38の大手製薬企業、多数の中小企業（SME）の直接会員により構成されています。新たな治療薬およびワクチンの創薬や研究開発、イノベーション、供給を可能にする環境の構築と、欧州経済への貢献を使命としています。

お問い合わせ先：

木戸口結子

EFPIA Japan 広報委員会

バイエルホールディング株式会社

〒100-8268 東京都千代田区丸の内1-6-5

Tel: 03-6266-7757

Email: yuko.kidoguchi@bayer.com



アストラゼネカ株式会社
代表取締役社長
堀井 貴史 (ほりい たかふみ)

堀井貴史はアストラゼネカ(株)代表取締役社長として、コマーシャル、R&D、オペレーション本部に勤務する3,400名の社員ならびに年間売上高約35億ドルのビジネスを率いる。

職歴

アストラゼネカ入社以前は、武田薬品工業(株)でシニアバイスプレジデント、日本オンコロジー事業部長を務め、グローバルオンコロジーリーダーシップチームおよび日本法人の経営チームの一員として役割を担った他、新興国事業部門にて、中近東・アフリカ地域21カ国を統括する地域統括責任者、台湾法人の会長兼社長、新興国の事業戦略を統括する副社長、中国の戦略企画部長を務めるなど、世界各国で様々な要職を務めた。

対外的には、ドバイにて米国研究製薬工業協会(PhRMA)のエグゼクティブコミッティメンバーを、台湾にて中華民国開発性製薬研究協会(IRPMA)の常任理事兼マーケットアクセス委員長、および日本商工会議所の医薬品・医療機器委員会で副会長を務めるなど、業界団体を通じて各国の医療制度の改善、患者様を取り巻く治療環境の改善にリーダーシップを発揮した。

キャノン(株)グローバル本社でキャリアをスタートし、その後米国系ITスタートアップ企業の日本事業立ち上げ時の初期メンバーとして参画し、後にコンサルティング部門のリーダーとして、医薬品産業を含む様々な業種の手続き企業・多国籍企業の日本法人に対してコンサルティングを提供した経験を有する。また、日本以外にもドバイ、台湾、上海やシンガポールでの海外勤務を通じて、国際的な組織でリーダーシップを発揮すると共に、多様で幅広い職責を担ってきた。

表彰

“Top Employer in Middle East as a Regional Award”: 包括的な人事制度導入を通じて、各国法人社長および人事ビジネスパートナーのエンパワーメントを実現

国際医療フォーラムより“Top 100 Healthcare Award”を受賞:新興国における医薬品アクセス向上への貢献等を評価

学歴

バージニア大学ダーデン経営大学院 経営学修士(米国)